お茶の水女子大学でのCST認定の判定基準

				CST理科教育法Ⅰ			CST理科教育法Ⅱ			自由研究指導法			教員研修実践論			
			養成プログラム科目	エネルギー（物性・力学など）	エネルギー（電気など）	粒子（水溶液など）	生命（生物機能など）	生命（連続性・多様性など）	地球（地学・天体など）	自由研究レポート作成法	事例研究	自由研究レポート作成実践	教材の事例分析	教材の開発	教員研修の実践	教職インターンシップ
カテゴリ	修了判定基準の要素名	修了判定基準の要素														
Ⅰ理科指導力	基礎観察実験	小・中学校の結びつきを踏まえて観察・実験の目的、内容、原理を理解し、観察・実験を行なうことができる		○	○	○	○	○	○							
	発展観察実験	高校・大学レベルの理科や先端科学との関連を理解できる		○	○	○	○	○	○							
	安全管理	安全に注意して観察・実験を実施できる		○	○	○	○	○	○							
	児童理解	児童が行ないがちな実験器具等の誤操作を理解できる		○	○	○	○	○	○							○
	生活との関わり	単元内容を生活の中での体験と結びつけて理解できる		○	○	○	○	○	○							
Ⅱ自由研究レポートの作成力	科学研究が満たす要件の理解	「仮説形成」「対照実験」「結果と考察」「統計と検定」など、科学研究に必要とされる要件を理解できる								○	○	○				
	論文の形式・内容の理解	論文の形式を理解し、「目的」「方法」「結果」「考察」を読み解くことができる								○	○	○				
	仮説の形成と検証	適切な仮説を形成して、対照実験等を用いてその真偽判定ができる									○	○				
	考察の作成	結論や新しく得られた知見を正しく導くことができる										○				
	文献調査	レポートに関係する文献の調査ができる										○				
Ⅲ教材開発力	学習指導要領との対応	学習指導要領と適切に結び付けて教材開発ができる		○	○	○	○	○	○				○	○		
	単元／教科横断性	単元／教科横断的な側面を考慮できる											○	○		
	教材の地域性・専門性	教材に地域性や専門性を盛り込むことができる											○	○		
	教材の実用性	教育現場において実際に使い易い内容で作成できる											○	○		
	外部資金申請書の作成	公募中の外部資金を検索でき、公募要領に従って申請書を作成できる												○		
Ⅳ教員研修実践力	アンケートの実施	研修内容のニーズ調査や研修効果をアンケート実施により分析できる													○	
	研修案内書の作成	日程調整や場所確保など研修計画を組み立て、研修案内書を作成できる													○	
	研修の準備	必要な器材を準備できる		○	○	○	○	○	○						○	
	研修実施	計画案に則って、当日の研修を実施運営できる													○	
	学校管理職との連絡折衝	管理職に報告・相談ができる													○	
Ⅴ組織貢献力	校務分掌	学校組織で求められる業務や守るべきルールなど、学校経営目標を達成するために求められる組織的活動の実態について理解できる														○
	コミュニケーションスキル	授業参加、理科研究部会／校内研修への参加等にあたり、メンター先生との打ち合わせができる														○